

町田市で新規就農

竹村 庄平 さん

Bamboo Village Farm

就農までの経緯

- 2005 大学卒業

- 2005 会社員時代(海外含む)

- 2012 長野県で研修

- 2013 高知県の農業塾で勉強

- 2014 町田市の農家で研修

- 2014 町田市で新規就農



今回紹介するのは、町田市で就農した竹村庄平さん(33)。約1年半が経った今あらためて農業を目指したきっかけから現在にいたるまでの経緯、そして今後の夢についてお聞きしました。

昨年1年間は、20から30品目ほどの野菜を生産しました。全て有機肥料で育てています。普段は個人宅や個人店舗、レストランなどにお届けしていて、SNSなどの口コミで広がることもあれば、ご近所さんとのご縁で出荷先が増えることもあります。

農業を目指したきっかけは？

とある勉強会に参加した時、健康や病気について学ぶ機会があった。その内容にとても衝撃を受けたんです。もともと独立願望が強かったこともあって、自分では何ができるかなあと考えた時に辿り着いたのが農業でした。

就農までの道のりは？

地方で経験を積んだ後に就農先を探していたところ、地元の町田市で「農地あっせん事業」があることを知りました。町田市の農家さんに研修させてもらい、その後「担い手バンク」に登録して農地を借りることができました。農地は年々広がっていて、今では田んぼも含めて5ヶ所です。



4000㎡をお借りしています。実際やってみてわかったのは、東京と地方では、地形や栽培方法、機械だけでなく農地の貸し借りについても全然違うんだってこと。正直、最初はとても戸惑いました。やりながらだんだん慣れていった感じです。

いま取り組んでいることは？

ぼくは特に食育や農育に力を入れています。消費者と農家の間には大きな溝がまだまだあると感じてるんですよね。それを埋めるために、興味を持ってくれる人たちと想いや楽しさや学びをシェアしていく必要があると思っています。だからぼくは畑に来てくれる人々には、風景も含めて楽しく気持ちよく過ごしてもらえように工夫もしています。その甲斐あって、今ではあらゆる人たちが来て作業を手伝ってくれるようになりました。

食を扱う人を大切にしたい！



これからの目標や夢は？
今後2年間は、より土台を広げる年にしようと思っています。昨年の一年で各月の売上は見えてきたから、それをベースにもっと多くの人に食べてもらったり、その中でどうコストを削減できるかなどを考えていこうかなと。
あと、いつか子どもたちの就きたい職業に「農家」が入ってほしいですね！そのくらい農業の地位を上げていきたいです。
取材に同席した竹村さんをよく知るご友人は、作業を手伝いはじめたから農と食が身近になったとか。まさに農育ですね。
これからの竹村さんの活動がますます楽しみです！



もう常連さんがついているよ！



取材のご協力 ▶ 写真上：「わらべのうた」(町田市常盤町) / 写真下：「嵐が丘」(町田市小山田桜台) / 佐藤貴彦さん